

「こんなことがありました」

まちの話題

空手の九州大会で3位 浦野真樹さん

12月19日、空手道場「蓮真會」の浦野真樹さん(46歳)が、全九州硬式空手道選手権大会で3位に入賞したことを報告に、市長を表敬訪問しました。

県予選を勝ち抜き出場した本大会では、40〜49歳が出場するシニア1部に出場。このクラスは体重による階級はなく無差別での取り組みです。「体が大きくないので、体重を落として動けるようにして大会に挑んだ」と話す浦野さん。今年3月から5kg体重を落としてベストな状態で試合に挑み、見事組手で3位という好成績を収め、全国大会への切符を手に入れました。

浦野さんは10歳から空手を始め、現在は下境の蓮真會で子どもたちの指導を行っています。週2回の道場での指導のほか、週に5



日はトレーニングに励んでいます。自身も競技をしながら「子どもたちも良い成績を残せたら指導者として嬉しいですね」と語りました。

市長は「ぜひ後進の育成も続けて、全国大会では九州大会以上の成績を残していただきたい」と激励しました。

浦野さんは、5月に行われる全日本硬式空手道選手権大会へ出場します。

県へ川端川 河川整備を要望

市長は、中泉小学校校区代表の堀孝さんと下境小学校校区代表の田村光男さんとともに12月22日、県土整備事務所を訪問し、川端川の河川整備についての要望を行いました。



市長と両校区代表は、令和元年より着手されている川端川の河川改修事業について、事業の拡充と早期完成に向けた要望書を提出しました。

抗原検査キットを寄贈

調剤薬局を運営する株式会社タカラ薬局(福岡市)の岡村由紀子社長と小川朋久前社長が27日直方市を訪れ、厚生労働省が認可した抗原検査キット4千個を寄贈しました。

小川前社長は「直方市は生まれ故郷」と語り、岡村社長と小川前社長は「更なる新型コロナウイルス感染拡大を防ぐために役立ててほしい」と話しました。

市長は「コロナ感染予防対策にご協力いただきありがとうございます。しっかり活用させていただきます」とお礼を述べました。

抗原検査キットは、市内の高齢者施設や障がい者施設、保育園、幼稚園、小中学校等で活用します。



ラコッタ蘭の寄贈

1月11日、アトリエブランシユのフラワーデザイナーである野崎由美子さんより、蘭のラコッタが寄贈されました。

「LACOTTA/ラコッタ」とは国産漆喰100%で作られた「漆喰の花」のことで、除菌・消臭・調湿機能を持つといわれる漆喰を生活空間に取り入れられるよう野崎さんが考案し、商標登録されています。

今回寄贈されたのは7本立ての蘭で、56輪ある花弁の厚さは1ミリ程の繊細な仕上がり。アトリエのスタッフと2人で花を作り、野崎さんが組み立てた製作期間2か月の大作です。

ふるさと納税の返礼品にも登録されているラコッタ。野崎さんは「直方銘花として広めていきたい」と話しました。





市のホームページでは、
この他の話題も公開しています。



気持ち引き締め大人への仲間入り 二十歳のつどい

1月8日、二十歳のつどいがユ
メニティのおがたで開催されまし
た。

民法改正により成人年齢は18
歳に引き下げられました。本市
では20歳を迎えた人を対象に、自
立し、大人社会へ仲間入りするこ
とを自覚するため「二十歳のつど
い」として開催しました。

今回の対象者558人のうち
368人が来場し、スーツ姿や振
り袖姿の新成人たちが、会場を華
やかに彩りました。



市長は挨拶で「皆さんには無限
の可能性がある。謙虚さと学び
続ける姿勢を失わず、社会の変化
に対応できる人になり、夢を持
ち、叶え続ける努力をしてほし
い」とエールを送りました。

また、新成人代表 栗野駿輔さ
んの挨拶を小野元気さんが代読し
「これから長い人生の中で、様々
な経験を積み、乗り越えていくこ
とで本当の大人になれると思う。
多くの人に感謝し、新成人として
恥じない大人になります」と誓い
ました。

新成人の皆さんが、これから
様々な経験を積み、素敵な大人に
なることを願います。

